

学院の近況

皆様、いかがお過ごしでしょうか。夏季休暇前の実習やオープンキャンパスが終わり、8月の今はすっかり静かな学院です。新型コロナウイルス感染症が5類になって初めての夏、江差姥神大神宮渡御祭（無形民俗文化財）も4年ぶりに開催され、江差の町にもコロナ前の日常が戻ってきました。とはいえ、実習でお世話になる医療機関などからは引き続き行動制限や体調確認を求められており、学院内でも実習がすべて終わるまで感染対策を徹底してまいります。学生の皆さんもご協力よろしく願いいたします。

さて、7/22に開催した「地域型オープンキャンパス・江差高看まつり」は開学以来初めての取組でしたが、小さなお子さんからご高齢の方まであらゆる世代の方が169人も学院に来てくださり、大盛況に終わりました。ミニ縁日や看護体験など体験型の企画も多く、大変楽しく過ごせたという感想のほか「学生さん頑張っていましたね」「高看さんが身近に感じられました」など励ましや応援の声もいただきました。学生自治会の奮闘はもちろん、江差高校、江差町役場、道立江差病院、NPO法人まちカフェ江差、檜山振興局など各関係機関にご協力いただいたおかげであり、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。今回の取組は来年の学生数に反映される即時的なものではありませんが、学院が安心して学べる環境であることを地域の皆さんに知っていただいたり、参加した子ども達が将来看護師をはじめとする医療従事者になるきっかけになれば、これほど嬉しいことはありません。

今年度の学生確保対策は高看まつりのほか、Webによる「高校向け学院説明会」、職員や在校生が各地に出向く「地域別学校説明会」（函館・小樽・青森）を実施しています。参加数は少ないものの江差高看に関心を持っていただく機会になっていると考えています。並行して「魅力あるカリキュラムづくり」も進めており、今年度から札幌大・コードモックル実習、奥尻島実習（奥尻町役場・国保病院）、江差町内での実習の充実（南檜山メディカルネットワーク、ケアカフェなど）を新たに実施します。江差らしさ、道立の強みを活かしたカリキュラムは学生確保に向けたアピールにもなりますが、何より、在校生にとって経験や学びの一つになることを期待しています。

引き続き、「開かれた学院創造」「学生確保」に向けて取組を進めてまいります。お気づきのことがありましたらお知らせください。（学院長・石谷絵里）

■□ 学院生活・ハラスメントに関する学生アンケート結果報告 □■

7月に実施したアンケートの結果を報告します。

実施時期	7/24～28	回答数30人（回答率96.7%）
[1] 学院生活が充実している（楽しい・まあまあ楽しい）	25人（83.3%）	
[2] 自分自身に満足しているか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	24人（80.0%）	
[3] 自分が役に立たないと感じるか（どちらかと言えばそう思わない、そう思わない）	18人（60.0%）	
[4] 今の自分が好きか（そう思う、どちらかと言えばそう思う）	24人（80.0%）	
[5] 学院内で次のような体験をしたことがあるか <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の暴力と言えるようなひどい非難叱責を受けた ・事実無根のうわさを流された ・私生活に干渉するようなことを言われたりされた ・教育・研究とは関係ないと思われる私的な用件を命じられた ・非常識な時間に実験や研究を命じられたり呼び出されたりした ・学業・研究・業務等を妨害するような言動を受けた ・学業・研究・業務等に関して自分だけ不当な扱いを受けた ・容姿・年齢・交友関係等に関して、執拗に聞かれたり、話題にされたりした 	ない 26人 たまにある 4人	
[6] ある場合の具体的な内容	容姿について （その他3件は記載なし）	
[7] ハラスメント相談員を知っている	29人（97%）	

学院満足度、自己肯定感に関する質問は、昨年度と比べポジティブな回答が増加しています。

また、ハラスメントが「たまにある」と回答した4件については、具体的な内容の記載がなく、ハラスメントや不適切な指導に該当するかどうか判断ができませんでした。学生には、アンケートは無記名であり詳細も記載されていない内容では事例に則した対応はとれないので、ハラスメントと感じた場合には、目安箱や相談員への相談を活用するように周知しています。

祭

江差高看まつり

祭

- 日時 令和5年7月22日(土) 11~15時
- 場所 江差高等看護学院
- 主催 地域型オープンキャンパス実行委員会(江差高等看護学院・学生自治会・同窓会、道立江差病院、北海道檜山振興局、江差町、江差高校、NPO法人まちカフェ江差、カウンセリングオフィス静律、北海道保健福祉部)
- 特別協賛 檜山町村会・株式会社北都DM・株式会社ベンリー
- 来場者総数 169人!!



ミニ縁日は手作りゲームで工夫を凝らしました



取材にもたくさん対応しました



ベビーバスでヨーヨー釣り



地域食堂のカレーも美味しかった



ニシンの一本釣りも大好評!



オープンキャンパス参加者(中高生)への説明



モデル人形の心音を聞いてもらいました



ベビー人形を大事そうに抱く子ども達☆

学生自治会から

オープンキャンパスでは地域の方を初めて学院に招いて開催したため、どんなことをしたら楽しんでもらえるか考えることが難しかったです。開催が近づくにつれてボランティアや協力してくれる方が増え不安と期待が高まっていきました。

開催中は大きな失敗もなく、多くの方が楽しんでくれると同時に、自分たちもおもてなしや、相手の年齢に合わせた会話の仕方など多くの学びを得ることができ、楽しみながら終わることができました。来場者アンケートでは楽しかったなどのほか、来年の開催も望む声もあったので、ぜひ来年も開催できるようにしていきたいと考えています。

学生自治会長 藤田 健太



<1年生>

4月から始まった講義が少しずつ終わり、各科目の試験が始まってきました。基礎看護学の科目では、演習や事前課題・事後レポートも増えてきて、優先順位を考えた計画的な学習が必要となりますが、1年生6名はそれぞれ積極的に学習に取り組んでおります。

前回の江差通信でお知らせしたスタートアップ模試では全国70校中19位、道内4校中2位という結果でした。毎日のコツコツした努力の結果だと思っております。

ボランティア活動では、江差町役場主催「ネクストイノベーション」に参加し、高齢化社会で自助・公助として自分たちができることを話し合いました。また、江差高校の体育祭では、高校生たちが熱中症にならないように水分補給や塩分タブレットを積極的に配り、未来の看護師として頼もしい姿を見せてくれました。

教室にも夏の様相となり、学生の願いが込められた七夕のクラフトアートが飾られていますので、こちらで紹介させていただきます。自分たちで考え、協力して行動する力が着々と身につけてきています。

夏期休暇にしっかり充電をして、後半も頑張っていきましょう！（1年生担当：竹田里美）



江差高校ボランティア参加



素敵な七夕飾り

<2年生>

2回目の病院実習である、基礎看護学実習Ⅱが6月19日～7月5日に行われました。患者さまに合わせた援助の実践を通して、看護の学びを深める機会となりました。実習最終日の学生たちの達成感に満ちた表情や、患者さまから激励のお言葉をいただき目を潤ませている様子に感慨深いものがありました。入院している中、受け持たせていただいた患者さまに感謝し、後期の学習にも励んでいけるよう支援してまいります。

実習終了後からは、看護過程サポートが始まりました。看護学生が苦手を感じる看護過程をざっくばらんに教員に質問したり助言を受ける機会を設け、10月の成人看護学実習Ⅰに向けて準備をしています。学生は次の実習に向け、意欲的にがんばっています！

また、7月28日には国家試験ガイダンスを行ないました。

学院内に国家試験問題や暗記のためのゴロ合わせも掲示しており、刺激を受けていることと思います。

夏期休暇中はリフレッシュしつつ、苦手分野の学習を行い、課題克服に向けた準備をすすめていきましょう。

（2年生担当：楠原千景）



<3年生>

3年生の実習も中盤を迎えました。早起きの生活にも慣れ、日々、たくさんの課題と向き合いながらグループメンバーと励まし合い、表情イキイキと実習に出かけていっております。看護の楽しさや、やりがいを感じて次の実習につなげられればと思っています。

睡眠時間の確保、体調管理が今後も一層大切になってきます。実習の後半戦も自分らしさを伸ばしていけるようしっかりサポートして参ります。みなさん頑張りましょう！

学生生活最後の夏休みです。自分の夢に向かって有効に時間を使えるようにしていきましょう。夏休み前に「夏を制する者は〇〇を制する！」をお題として3年生の皆さんに目標を考えてもらいました。数例を紹介します。多数は「看護師国家試験！」と答えておりましたが、「夏」「春」「Happy」「Enjoy」などや「未来の姑、小姑」などもありました。いろいろな考えがありますね。学生時代の夏休み、悔いの残らないように頑張りましょう。

みなさんそれぞれ充実した「夏」を過ごしましょうね。

（3年生担当：山中千晴）



札幌医科大学・コドモックル実習報告～魅力あるカリキュラムづくり(その1)～

3年生17名が、8月1～2日の一泊二日で、札幌医科大学附属病院と北海道立子ども総合医療・療育センター（施設愛称：コドモックル）へ見学実習に行ってきました。「高度医療の実際と一般医療との連携を学び看護師の役割を学ぶ」ことを目的に、病院の機能と看護の特性について説明を受け施設を見学しました。

札幌医科大学では「高度急性期医療の中では特に予見する力や多職種連携の必要性を感じた」「医療や看護について探求することが必要」、コドモックルでは「健康障害があっても発達課題が達成できるように看護することが必要」「辛い治療や親から離れて暮らしているのに笑顔で過ごす患児を見て、看護の力はすごいと思った」など、多くの気づきを得られたようです。さらには、高度医療で働く看護師の姿を見て、自分の将来のキャリア（専門看護師・認定看護師等）についても考える機会になったようで、夏期休暇明けの「実習レポート」が待ち遠しいです。

今年度初めての取組でしたが、今後も「道立の強み」を活かした実習として継続していく予定です。（実習係・講師：臺坂恵子）



コドモックルの前で

ボランティア・地域との連携

7月9日には、昨年度に続き江差高校体育祭に教員2名、学生2名が参加しました。当日は江差とは思えないほど気温が上昇し、学生たちは高校生が熱中症にならないよう、水分補給や塩分補給などのため、生徒のテントを積極的に回りながら対応していました。

7月12日に開催された江差町の「ネクストイノベーション」に私が参加しました。地域の人との繋がりを目的に活動する「きずなプロジェクト」として、地域型オープンキャンパス「江差高看まつり」に地域食堂で参加することとなり、当日の流れについて具体的な打ち合わせを行いました。

7月22日の江差高看まつりでは、きずなプロジェクトの方をはじめ、江差町役場や江差病院、江差高校など、たくさんの方にお手伝いいただき、改めて地域の皆様に支えられていること実感しました。今後もこのつながりを大切にしながら、地域との連携を積極的に進めていきます。（副学院長・大島慎也）

高校教員向け学院説明会(第2回)実施報告

- 日時：令和5年7月5日（水）16:00～17:00（Web開催）
 - 対象：推薦エリア（全道および青森県内）の全高校（個別に案内）
 - 参加校：2校（札幌・オホーツク管内の高校の進路担当、担任教諭など）
 - 内容：学院概要・ハラスメント再発防止対策の説明、学院PR動画上映、質疑応答
- 全道規模、青森県を対象にした説明会を初めて開催しました。2校のみの参加でしたが、質疑応答などから学生確保対策につながる非常に貴重な時間となりました。
（Web説明会には、第1回とあわせて合計7校に参加いただきました）

スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

- 日程 9/14（木） 対面（14:30～17:30）
8/24、9/28（木） オンライン（16:30～18:00）

● 予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

- ① 氏名、②学年、③連絡先Tel、④希望日時、⑤希望方法、⑥相談内容



スクールカウンセラー
諏訪(すわ)先生

□■ 学院行事等のお知らせ ■□

- ◆ 保護者面談 令和5年8月 8日（火）9日（水）
- ◆ 地域別学校説明会 令和5年8月 6日（日）函館市、19日（土）小樽市、20日（日）青森市
- ◆ 学生始業 令和5年8月28日（月）